

「第73回大阪総体」結果報告

男子団体 久々の3位入賞！

個人も男子田伏、女子紺谷が4位入賞！

9月2日(日)に、「第73回大阪総合体育大会弓道競技の部」が行われました。この大会は、個人戦は4射3中以上で予選通過、いきなり決勝射詰で順位を決定。団体戦も予選1立12射の一発勝負で、上位8位までが決勝トーナメントに進出という、出遅れが許されない厳しい試合形式です。

◆個人戦 男女とも大健闘の4位入賞！

個人戦は、男子5名(2年田伏、久、横山、栗原、1年横山)、女子3名(2年紺谷、古谷、本木下)が出場しました。4射3中以上で通過ですが、男子は田伏、久、女子は紺谷が見事、決勝射詰競技に進出しました。男子は、久が1本目を外し無念の脱落(一応10位タイでした)。田伏は、1本目、2本目と的中しましたが、3本目を外し、3、4位の競技にまわりました。遠近法による競技で的中するも、相手の方がわずかに真ん中に近かったため、4位入賞となりました。

女子は紺谷が一人気を吐き、1本目、2本目、3本目と的中する頑張りを見せましたが、4本目を惜しくも外し、4位入賞となりました。田伏、紺谷共に大健闘の入賞だと思います。良く頑張った！

◆団体戦 大健闘の3位入賞！

団体は、男子1チーム(2年田伏、1年横山、2年久、補欠2年横山)、女子1チーム(2年古谷、山下、紺谷、補欠本木下)の出場です。

女子は個人戦に出場できず、悔しい思いをした山下が意地を見せて頑張りましたが、あと1本足りず、残念ながら上位8チームに残る事ができませんでした。前回のブロック大会でも、思うような結果が出ず、「今回こそは！」と意気込んでいきましたが、残念な結果となりました。

男子は、予選を4位で通過、上位8チームの決勝トーナメントに進出しました。準々決勝の東淀川高校戦を快勝するも、準決勝の大阪学院大学高校戦に完敗、3位決定戦に回りました。相手は岸和田産業高校でしたが、今大会1番の的中で快勝、見事3位入賞を果たしました。この大会、2年生の田伏、久はもちろん、1年生ながらメンバー入りした横山の頑張りがひかりました。的中自体はまだまだですが、このプレッシャーのなかでの試合の経験は、必ず今後に活かされると思います。また、今年のこの大会では3位決定戦に敗れ、

悔しい思いをしましたが、今回リベンジを果たせました。



■ 3強の一角を崩せ！

現在大阪の男子は、全国レベルの3校(近畿大会三連覇中の浪速高校、昨年のインターハイ準優勝の大阪学院大学高校、近畿大会準優勝、全国選抜ベスト8の岸和田産業高校)がひしめく大激戦となっています。本校にとっては大変厳しい戦いが続いています。この3校のどこかに勝たないと近畿大会は見えてきません。そこで、夏休みにこの3校と練習試合をしてもらいました。結果はコテンパンにやられましたが、「この3校が、我々が目指す目標だ!」「この3校に追いつけ、追い越せ!」ということ意識付けしました。その後の練習でも、「3強の一角を崩すんや! 3強に食い込むのは、大阪青凌高校や東淀川高校やない、英真学園や!」とハッパを掛け続けました。結果、何とか3位に食い込むことができました。少しずつやってきたことが、結果として出せるようになってきました。今後に期待が持てます。

さあ、次は私学大会です。上位4校に、「全国私学大会」への出場権が与えられます。「全国」の切符を勝ち取ってほしいと思います。女子も今回の経験を生かし、上位4校を目指して頑張ってもらいたいと思います。

「目標をもてば 必ず強くなれます」

